

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年4月8日

【2019年3月30日～2019年4月5日までの推移】

### 【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。ボルソナロ大統領が政党連立に向けて動き始めたことなどが好感され、ブラジル・レアルは買われました。

ボルソナロ大統領はこれまで、連邦議会での政党連立を「古い政治」として好まず、政党連立に頼らない方法での年金改革法案承認を目指していました。しかし、ボルソナロ政権発足後、いまだ政府の法案が一つも承認されていないことや、年金改革法案においても、下院での協力体制が見えないことなどから、当初の方針を変更し、政党連立に向けて動き出しました。地元紙がボルソナロ大統領は今週末までに9つの政党と会談予定で、仮にすべての政党から合意を得られた場合、下院通過に必要な票を確保できると報じたことなどが好感されました。

経済指標に関しては、2月の鉱工業生産や3月の各種PMI(購買担当者指数)などが発表されました。2月の鉱工業生産は予想を下回る伸びとなりましたが、3月の各種PMIはいずれも景況感の改善と悪化の分岐点である50を上回りました。また、予想GDP(国内総生産)成長率の下方修正などを受け、経済省が経済活性化法案を準備していると報じられています。法案は企業の生産性を高めることを目的に、短期から中長期までの期間別に練られ、「ビジネス上の官僚手続きの簡素化」、「雇用活性化」、「市場原理促進」、「ブラジル4.0(デジタル化)」の4つに大別されています。法案の詳細は今月中にも発表される予定で、年金改革に次いで注目を集めそうです。

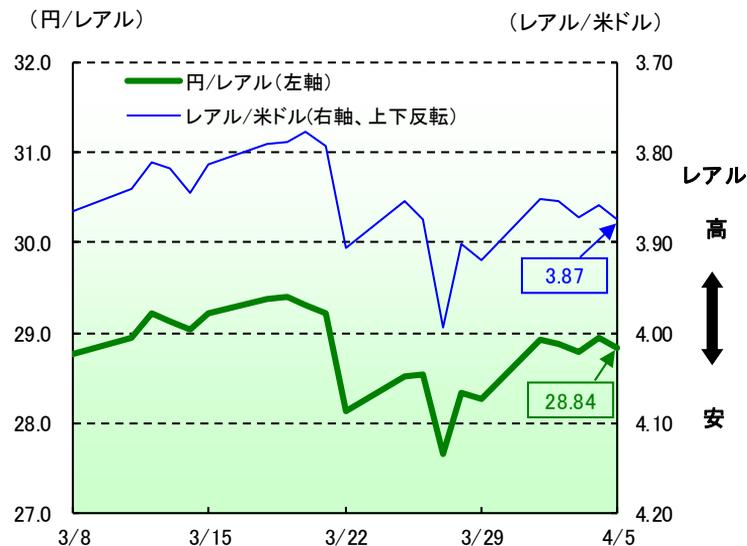
### 【2】今週の見通し

今週は、小売売上高やIPCAインフレ率、経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。

足元のブラジル金融市場は政権発足時の楽観ムードから、ボルソナロ大統領の政権運営能力を見極める段階に入っています。ボルソナロ大統領への信認が揺らいだ際にはブラジル・レアルは大きく売られることが予想されるため、引き続き動向を注視していきたいと思えます。一方で、年金改革法案以外にもブラジル経済を活性化させる施策も進められており、このような材料にも目を配ってしていきたいと思えます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

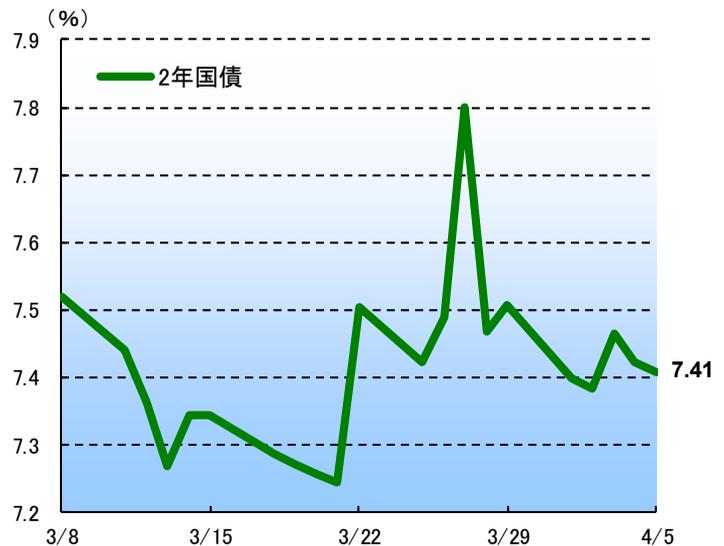
(2019年3月8日～2019年4月5日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2019年3月8日～2019年4月5日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>